

令和3年新規就農者調査結果の概要

農林水産省「令和3年新規就農者調査結果」（調査期日：令和4年2月1日）によると、令和3年における新規就農者は前年に比べ2.7%減少し、このうち49歳以下の新規就農者は新規雇用就農者と新規参入者の増加により前年をわずかに上回った。

1. 新規就農者数

令和3年の新規就農者は前年に比べ1,450人（2.7%）減少し5万2,290人、このうち49歳以下は同40人（0.2%）増加し1万8,420人であった。就農形態別にみると、新規自営農業就農者は3万6,890人（前年比8.0%減）、新規雇用就農者は1万1,570人（15.1%増）、新規参入者は3,830人（7.0%増）となっている。なお、49歳以下の新規就農者では、雇用就農者が自営農業就農者を初めて逆転した（表1参照）。また、就農形態別にみた49

歳以下の新規就農者が占める割合は、新規自営農業就農者で19.5%、新規雇用就農者で73.8%、新規参入者で70.2%となっており、就農形態によって大きな差がみられる（図1参照）。

2. 新規自営農業就農者数

新規自営農業就農者とは、個人経営体の世帯員で、調査期日前1年間の生活の主な状態が「学生」から「自営農業への従事が主」になった者及び「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」になった者をいう。

新規自営農業就農者は3万6,890人、このうち49歳以下は7,190人で、前年に比べそれぞれ8.0%、14.8%減少した。令和3年の新規自営農業就農者のうち、男性は前年に比べて2.3%減少、女性は23.9%減少し、男女別の構成比は男性が78.2%、女性が21.8%となり、その差が拡大した（表2参照）。

表1で示したように、新規就農者のうち新規自営農業就農者、とくに49歳以下の就農者の減少が著しい。この背景には、新規学卒就農者数が新規雇用就農者では増加傾向にあるのに対して、新規自営農業就農者では減少傾向にあるという状況がある（図2参照）。

3. 新規雇用就農者数

新規雇用就農者とは、調査期日前1年間に新たに法人等に常雇い（年間7か月以上）として雇用されることにより、農業に従事することとなった者（外国人技能実習生及び特定技能で受け入れた外国人並びに雇用される直前の就業状態が農業従事者であつ

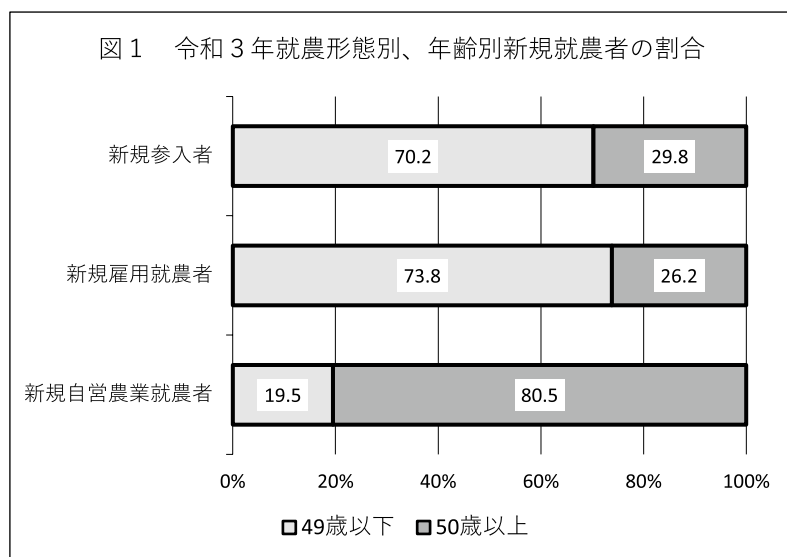
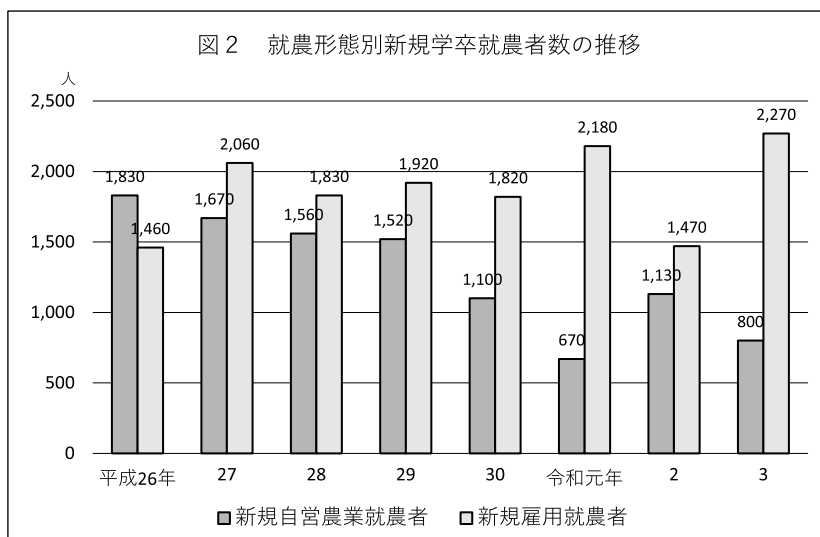


表1 就農形態別新規就農者数の推移

単位：人

	計	就農形態別						
		49歳以下	新規自営農業就農者	49歳以下	新規雇用就農者	49歳以下	新規参入者	49歳以下
平成26年	57,650	21,860	46,340	13,240	7,650	5,960	3,660	2,650
27	65,030	23,030	51,020	12,530	10,430	7,980	3,570	2,520
28	60,150	22,050	46,040	11,410	10,680	8,170	3,440	2,470
29	55,670	20,760	41,520	10,090	10,520	7,960	3,640	2,710
30	55,810	19,290	42,750	9,870	9,820	7,060	3,240	2,360
令和元年	55,870	18,540	42,740	9,180	9,940	7,090	3,200	2,270
2	53,740	18,380	40,100	8,440	10,050	7,360	3,580	2,580
3	52,290	18,420	36,890	7,190	11,570	8,540	3,830	2,690

資料：農林水産省統計部「令和3年新規就農者調査結果」令和4年9月30日公表（以下、同じ）



調査期日前1年間に新たに農業経営を開始した経営の責任者及び共同経営者をいう。なお、共同経営者とは、夫婦がそろって就農、あるいは複数の新規就農者が法人を新設して共同経営を行っている場合における、経営の責任者の配偶者又はその他の共同経営者をいう。

新規参入者は3,830人、このうち49歳以下は2,690人で、前年に比べそれぞれ7.0%、4.3%増加した。新規参入者を経営責任者・共同経営者別にみると、前者は前年に比べて8.5%増加、後者は同4.9%減少し、その構成比は前者が89.8%、後者が10.2%となり、その差が拡大した。また、新規参入者の男女別

た場合を除く)をいう。

新規雇用就農者は1万1,570人、このうち49歳以下は8,540人で、前年に比べそれぞれ15.1%、16.0%増加した。令和3年の新規雇用就農者のうち、男性は前年に比べて19.8%増加、女性は6.9%増加し、男女別の構成比は男性が65.6%、女性が34.7%となり、その差は拡大した(表3参照)。

4. 新規参入者数

新規参入者とは、土地や資金を独自に調達(相続・贈与等により親の農地を譲り受けた場合を除く)し、

構成比をみると、男性が81.7%、女性が18.3%となり、その差が縮小した(表4参照)。

さらに、新規参入者数を部門別にみると、露地野菜作が1,310人(前年比18.0%増)と最も多く、次いで果樹作が790人(19.7%増)、施設野菜作が650人(7.1%減)となっている。畜産部門のほとんどで新規参入者は減少しているが、酪農は40人で前年より33.3%減少した。(表5参照)。なお、新規参入者は初期投資が少なく済むことなどから、野菜作、とくに露地野菜作による就農が近年増加傾向にあり、最も多い就農形態であると言われている(北海道農政技術普及課)。

表2 男女別新規自営農業就農者数

	計		男女別	
	49歳以下		男	女
令和2年	8,440	40,100	29,550	10,550
3	7,190	36,890	28,860	8,030
増減率(%)	△14.8	△8.0	△2.3	△23.9
構成比(%)				
令和2年	21.0	100.0	73.7	26.3
3	19.5	100.0	78.2	21.8

表3 男女別新規雇用就農者数

	計		男女別	
	49歳以下		男	女
令和2年	7,360	10,050	6,300	3,760
3	8,540	11,570	7,550	4,020
増減率(%)	16.0	15.1	19.8	6.9
構成比(%)				
令和2年	73.2	100.0	62.7	37.4
3	73.8	100.0	65.3	34.7

表4 経営の責任者・共同経営者別、男女別新規参入者数

	計		経営責任者・共同経営者別		男女別	
	49歳以下		経営責任者	共同経営者	男女別	
					男	女
令和2年	2,580	3,580	3,170	410	2,950	630
3	2,690	3,830	3,440	390	3,130	700
増減率(%)	4.3	7.0	8.5	△4.9	6.1	11.1
構成比(%)						
令和2年	72.1	100.0	88.5	11.5	82.4	17.6
3	70.2	100.0	89.8	10.2	81.7	18.3

表5 部門別新規参入者数(抜粋)

	稲作	畑作	露地野菜作	施設野菜作	果樹作	酪農	肉用牛	養豚	養鶏
令和2年	490	190	1,110	700	660	60	120	10	10
3	490	210	1,310	650	790	40	70	0	10
増減率(%)	0.0	10.5	18.0	△7.1	19.7	△33.3	△41.7	△100.0	0.0
構成比(%)									
令和2年	13.7	5.3	31.0	19.6	18.4	1.7	3.4	0.3	0.3
3	12.8	5.5	34.2	17.0	20.6	1.0	1.8	0.0	0.3